

普及現地情報



発信年月日：令和4年(2022年)12月28日
所属名：湖東農産普及課
番号：F22013
部門分類：150 野菜
発信者名：宇野

イチゴ新品种「みおしずく」湖東地域からも出荷始まる！

‘みおしずく（品種名「滋賀SB2号」）’は滋賀県が初めて育成したイチゴの新品种で、明るい果実色、糖酸度のバランスの良さ、そしてジューシーな食感が特徴です。令和4年度は公募で選ばれた県内8戸の農家の実証栽培に参加し、11月29日から県内量販店でのテスト販売が始まりました。

湖東地域では、愛荘町の1法人が実証栽培に取り組み12月16日からJA東びわこを通じ㈱長浜合同青果に出荷し、県内量販店で販売されています。

本年度の実証栽培では6月17日に農業技術振興センターより提供された苗を増殖・育苗し、9月17日の定植後は温度管理や病虫害防除を随時検討しながら栽培されてきました。本年度は11月5日頃から開花が始まり、11月28日に初めて数粒収穫でき、このほど本格的なテスト販売が始まりました。

12月6日に開催されたJA東びわこイチゴ部会の目合わせ会では、先行して販売されている‘みおしずく’の評価が㈱長浜合同青果からされるとともに、県・JA東びわこ・㈱長浜合同青果が連携した取り組み姿勢を示すことができました。また、‘みおしずく’の試食も行われました。

来シーズンはJA東びわこイチゴ部会員や個人農家が‘みおしずく’を本格的に導入し栽培する予定であり、県域でのイチゴ統一ブランド品種として確立するため、さらに栽培技術指導や部会活動支援を行っていきます。



目合わせ会の様子



パック詰めされた‘みおしずく’